

病院長 様
有床診療所長 様

上田保健福祉事務所長
(上田保健所長)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底について (依頼)

日頃、本県の保健福祉行政に格別の御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。
また、医療機関の皆様には、日々の医療を担いながら、細心の注意を払い感染対策をして
いただいておりますことにつきまして重ねて感謝申し上げます。

さて、上田保健所管内の新型コロナウイルス感染症の発生状況は、本年 7 月から 10 月まで
の「第 5 波」において、急激な患者増加、ブレークスルー感染などが見られ、450 人を超える
感染者の発生がありました。

現在、患者の発生は落ち着いている状況にはありますが、オミクロン株の出現等により
予断を許さない状況となっています。

つきましては、昨年度末に続いてのお願いとなりますが、現在までに医療関係者の感染事
例が複数件確認されたことも踏まえまして、職員の皆様に、下記事項を参考に改めて「感染防
止のための行動」を呼びかけていただきますようお願い申し上げます。

記

1 今までに見られた感染事例等について

(1) 症状がある中での出勤

風邪症状や、若干の体調不調を認識しながら出勤した、及び勤務時間中に体調不調が
生じたが、そのまま勤務を続け、その後陽性が確認。

(2) 休憩室利用のリスク

感染可能性のある期間内に出勤していた陽性者が、休憩室において、マスクを外して食
事やお茶を飲みながら会話。数人が同時に使用し室内が狭く、換気が不十分な中で近い距
離で過ごし接触していた事例。

(3) 同居以外の家族・親族等の県をまたいだ移動による発生

進学・仕事の関係で県外から帰省した家族、普段は会わない親戚等が、正月等の機会に
長時間、交流・会食し、その中に陽性者がおり感染が拡大。

(4) 同居家族からの感染、濃厚接触

同居の家族が、職場、友人との会食、学校生活等の中で感染し、家庭内で感染が拡大。

2 感染防止策など

(1) 家庭内における対策

- 家族の皆様も、職場や、学校などで社会生活を送る中で、常に感染リスクがあります。家庭内にあっても、お互いに「感染しているかも知れない」と考え、有症状者がいる場合は全員マスクの着用、食事を別にするなどの感染対策をお願いします。
- 特に、県をまたいで移動があった者、「感染リスクが高まる『5つの場面』」にいた者とは、2週間は接触を最小限にするとともに、当該者の体調管理にも注意しましょう。

(2) 職場における対策

- 症状がある場合は出勤しないことの徹底。
- 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気づくり。
- 休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策及び注意喚起。

(3) 日常生活における対策

- 忘新年会や年末年始等で普段会わない人との接触や会食などでは、基本的な感染防止策、マスク会食などの徹底など慎重な行動。
- 買い物等は人混みを避け、短時間で済ませる。手指消毒にも留意。

3 資料等について

資料として添付しました『感染リスクが高まる「5つの場面」』などについて、当所のホームページにも掲載、リンク等を貼ってありますので、どうぞご覧ください。

- ・[「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」\(厚生労働省資料\)](#)
- ・[感染リスクが高まる「5つの場面」\(厚生労働省資料\)](#)
- ・[信州版「新たな日常のすゝめ」冬 ver.](#)
- ・[信州版「新たな会食のすゝめ」](#)
- ・[こんな時ありませんか～やっってるつもりは要注意～](#)

検索／上田保健福祉事務所

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/index.html>

長野県上田保健福祉事務所(保健所)

副所長 三井一孝 健康づくり支援課長 中澤文字

電話 0268-25-7148(直通)

FAX 0268-23-1973

E-mail uedaho-kenko@pref.nagano.lg.jp